

令和6年度 浦安市立富岡中学校 第1回 学校地域連携運営協議会の概要

日 時 令和6年5月16日(木) 19時00分～20時20分
場 所 富岡中学校 1階 図書室
出席者 委員9名(欠席者1名)
前学校評議員2名、学校支援コーディネーター、学区青少年健全育成連絡会会長
前PTA会長、現おやじの会代表、元校長、現校長、現教頭
傍聴2名

- 次 第
- 1 校長挨拶
 - 2 委員の任命
 - 3 自己紹介
 - 4 会長・副会長の選出
 - 5 協 議
 - (1) 令和6年度 学校経営方針について
 - (2) 今年度の学校地域連携運営協議会の方向性について
 - 6 その他
 - (1) 今後の予定について
第2回 8/30(金)、第3回 12/6(金)、第4回 2/21(金)
時間は15時30分～、場所は図書室
 - (2) 学校連絡窓口

協議における主な意見や感想

●育てたい力

○生徒のもてる力を伸ばしていくことと、底上げをしていくことのどちらに、特に力を入れていきたいのか？

→ 生徒の興味・関心があることや強みを伸ばしていきたいが、学習が不得意な生徒にも「できる」「わかる」ことを実感させ、自信をつけさせたい。

○生徒を個別に支援をしていくには、マンパワー(人手)が必要であり、地域の力を借りるとよいだろう。小学校には、そのような機会がある。

○「個別最適な学習」とは何か？

→ 一人一人の生徒にあった指導を行ったり、学習の機会を与えたりして学ぶ学習である。ICT機器の活用が効果的で、習熟度に応じた課題に取り組むことができる。

○ICT機器の活用に関わる支援については、学校はどのようなことを求めているのか。

→ 学習に役立つ支援はもちろんだが、セキュリティやトラブルの防止も必要である。

●災害対策

○東日本大震災の教訓として、どこに逃げればよいのか拠点を複数確保する必要がある。

○学校では避難訓練や引き渡し訓練を行っているが、避難所になることを生徒たちに伝える必要がある。小学校では学校に泊まる宿泊体験や炊飯体験を行っている。日本の避難所はプライバシーや健康の維持に課題がある。

●今後の方向性について

- 学校がどのような支援を必要としているのかを知りたい。それがわかれば地域も支援をしやすい。次回までに確認しておいてほしい。
- 会議に生徒が参加することは賛成である。
- 次回の会議の日時は設定しても、仕事の都合があるので、参加できる人が参加すればよい。
- 事前にメール等で議案や検討項目を募り、とりまとめて配付し、各自が考えたうえで会議に臨むとよい。
- 当日出席できない場合は、事前にメールや電話等で意見を伝えたりするとよい。
- 学校の行事等に参加した時に、意見や感想を言ったり、相談に乗ったりするとよい。

●学校経営方針について

- 全会一致で承認する。